

製品名: PARD3A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15753**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	151kDa

抗原情報

遺伝子名	PARD3
別名	PARD3; PAR3; PAR3A; Partitioning defective 3 homolog; PAR-3; PARD-3; Atypical PKC isotype-specific-interacting protein; ASIP; CTCL tumor antigen se2-5; PAR3-alpha
遺伝子 ID	56288.0
SwissProt ID	Q8TEW0
免疫原	抗血清はヒト PARD3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1141-1190

背景

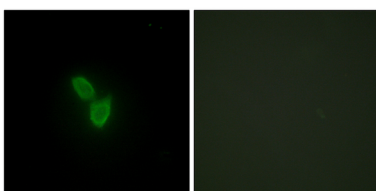
この遺伝子は、PARD タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。PARD ファミリーのメンバーは、他の PARD ファミ

リーのメンバーや他のタンパク質と相互作用し、非対称細胞分裂に影響を与え、極性細胞の成長を誘導します。この遺伝子については、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが記載されています。[RefSeq 提供、2011 年 10 月], alternative products: other is obsolete is a lot of isoforms. The group of alternative products: 追加のアイソフォームが存在するようです。実際のところ、選択的スプライシングを受けた産物は、大きく 2 つのグループに分類されるようです。1 つは、最長の連続 ORF を含みますが、中間ドメインを欠く分子も含まれる可能性があり、単一の TM エレメントを持ち、細胞膜と関連する可能性が高いグループです。もう 1 つのグループは TM ドメインを欠いているため、そのメンバーは分泌される可能性があります。疾患 PKHD1 の欠陥は、常染色体劣性多発性嚢胞腎 (ARPKD) の原因です [MIM:263200]。ARPKD は、腎臓と肝胆道に影響を及ぼす重症型の多発性嚢胞腎です。臨床像は多岐にわたり、ほとんどの症例は乳児期に発症します。胎児期の表現型の特徴としては、典型的には、腎肥大および腎エコー輝度の低下、ならびに尿量減少に伴う羊水過少などが挙げられます。罹患新生児の最大 50% は、重度の肺低形成および二次的な呼吸不全のために、出生直後に死亡します。周産期を生き延びた症例では、罹患率および死亡率は主に、重度の全身性高血圧、腎不全、および門脈管線維化に起因する門脈圧亢進症に関連しています。ドメイン: オリゴマー形成に関与し、適切な垂頂端膜局在に不可欠な、保存された N 末端オリゴマー形成ドメイン (NTD) を含みます。機能: 非対称細胞分裂および細胞分極過程に関与するアダプタータンパク質です。上皮タイトジャンクションの形成において中心的な役割を果たしていると考えられる。PAR6B との結合は、PAR3 と F11R/JAM1 の相互作用を阻害し、タイトジャンクションの形成を阻害する可能性がある。PAR6-PAR3 複合体は、GTP 結合型 Rho 低分子 GTPase を非定型プロテインキナーゼ C タンパク質に結合させる。機能: 集合管および胆管分化に作用する受容体タンパク質である可能性がある。その他: 皮膚 T 細胞リンパ腫患者の血清中には、PAR3 に対する抗体が存在する。PTM: PRKCZ によってリン酸化される。EGF 誘導性の Tyr-1127 リン酸化が LIMK2 からの解離を媒介する。配列注意: 配列が汚染されている。潜在的なポリ A 配列。類似性: PAR3 ファミリーに属します。類似性: 12 個の IPT/TIG ドメインを含みます。類似性: 3 個の PDZ (DHR) ドメインを含みます。類似性: 9 個の Pbh1 リピートを含みます。細胞内局在: 細胞間接触領域に沿って局在します。上皮タイトジャンクションで PAR6A および PRKCI と共局在します。中期 I および中期 II の間に減数分裂紡錘体を覆う皮質アクチンと共局在します。サブユニット: PAR6A および PAR6B と相互作用します。アイソフォーム 2 は PRKCZ と相互作用しますが、少なくともアイソフォーム 3 は相互作用しません。PRKCI と相互作用します (類似性による)。PAR6A または PAR6B、PRKCI または PRKCZ、および CDC42 または RAC1 との複合体の一部です。F11R/JAM1 と相互作用する (相同性による)。ARHGAP17、AMOT、MPP5/PALS1、INADL/PATJ、PAR3/PAR3 からなる複合体の構成要素である。LIMK2 と相互作用する。組織特異性: 胎児および成人の腎臓で主に発現する。成人の膵臓にも存在するが、その発現レベルははるかに低い。胎児および成人の肝臓で検出される。胎児の脳では、シグナルは比較的不明瞭である。組織特異性: 広く発現している。

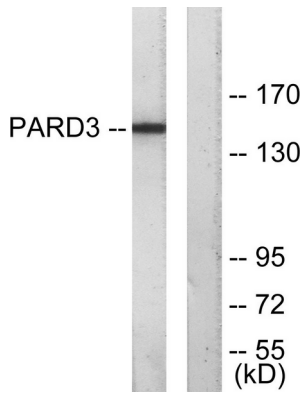
研究分野

ケモカイン; 神経活性リガンド-受容体相互作用; エンドサイトーシス; 接着結合; 接着結合;

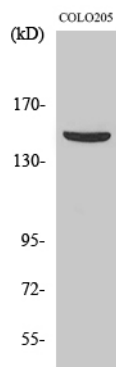
画像データ



PAR3 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



PARAD3 抗体を用いた COLO205 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PARAD3A ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析